

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

No.	科目名	曜日	時限 (注1)	受講期間	回数	授業 形式	定員
①	公的扶助論	火	4 限	4/8～7/22	14	対面 /オンライン	対面・オンライン 共に若干名
②	宗教学	水	1 限	4/9～7/23	15	対面	5 名
③	高齢者福祉論	水	4 限	4/9～7/16	14	対面	若干名
④	ソーシャルワーク 概論 I	木	5 限	4/10～7/24	15	対面	5 名

(注1) 時限・授業時間

1 限：9：00～10：30

2 限：10：40～12：10

3 限：13：00～14：30

4 限：14：40～16：10

5 限：16：20～17：50

- ※ 科目、曜日、授業時間等は都合により変更になる可能性がございます。
- ※ 授業形式において、①公的扶助論は、対面授業とオンライン授業の選択が可能です。②～④の科目については、対面授業のみとなります。
なお、対面授業の科目においても、オンライン授業（オンデマンド授業を含む）となることもあります。
- ※ すべての科目でインターネット授業支援システム「Webclass」(注2) を利用し、授業に関する連絡（資料配布・課題のお知らせ・レポート提出等）を行う場合があります。
- ※ ②宗教学について
地域社会の宗教文化を学ぶことを目的とした科目です。個別の宗教団体や宗教紛争を解説する内容ではありませんのでご了承下さい。
- ※ ④ソーシャルワーク概論 I について
授業中に毎回「Webclass」を使用します。
出席確認、授業中の課題への解答、資料閲覧に必要ですのでタブレットやノートパソコンなどネットにアクセスできるものをご持参してください。
なお、タブレット・ノートパソコンの基本的な操作についてのお問い合わせはお受けできません。
- ※ 成績評価はいたしません。よって、学期末試験を受験する必要はありません。

(注2) WebClass とは、本学で導入している e ラーニングシステム(学習支援システム)です。授業の教材・資料の閲覧やアンケート・レポート提出等に利用します。

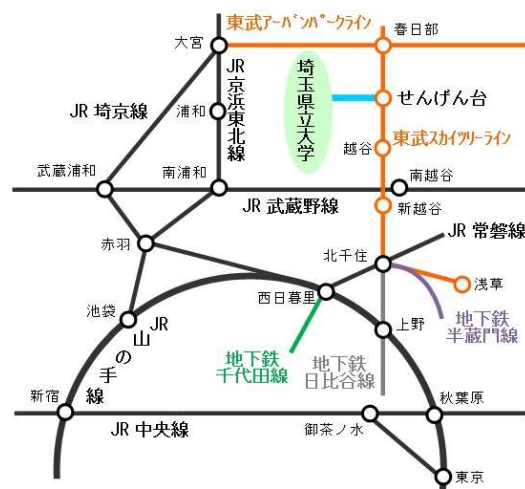
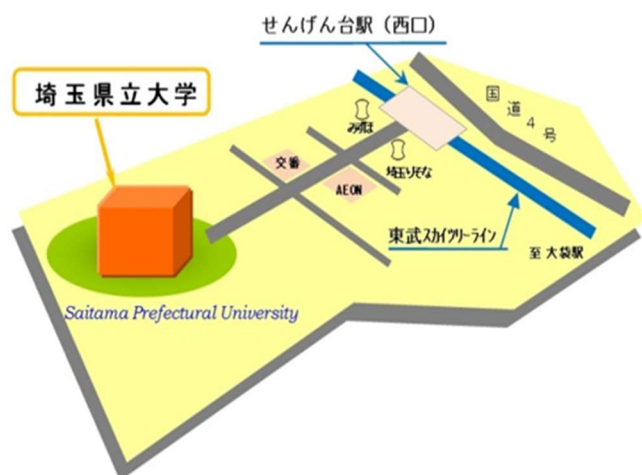
(2) 場所

埼玉県立大学 〒343-8540 越谷市三野宮 820 番地

東武スカイツリーライン「せんげん台駅」下車

西口よりバス：5分 徒歩：約20分

※ 自家用車、バイク等による通学は許可できません。



2 受講料等

(1) 受講料

- ・各科目毎に授業料が必要となります。
- ・受講料は受講決定後に振込となります。

※振込手数料は別途かかります。

科目名	受講料
公的扶助論	10,000円
宗教学	10,000円
高齢者福祉論	10,000円
ソーシャルワーク概論 I	10,000円

(2) その他

教科書等の教材を自己負担によりご用意いただく場合があります。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年2月28日(金)

(2) 申込方法

次の応募フォームよりお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/eb409f64271140>



お申込み完了後（送信後）に受付完了の自動返信メールが届きます。
 応募フォーム以外（電話・FAX等）のお申込みは受け付けておりません。
 受付完了メールが届かない、応募についての問い合わせ等ございましたら、
 お問合せ先までご連絡ください。

- (3) お問い合わせ先
 埼玉県立大学 地域連携センター
 E-Mail edec@spu.ac.jp
 TEL 048-973-4114
- (4) 選抜方法
 定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
 受講の可否、受講決定科目は、申込期限以降（3月中旬までに）、申込者全員
 にお知らせします。
- (5) その他
- ①申し込み後、都合により受講できなくなった場合は3月28日（金）までに
 ご連絡ください。ただし、一旦納入された受講料につきましては、
 原則としてお返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。
 - ②中止または受講方法の変更により受講できなくなった場合に限り受講料を
 お返しいたします。
 - ③天候や社会情勢等により、受講方法が変更となる場合があります。
 変更が生じた場合、受講者へ個別にご連絡いたします。
 対面授業を予定している科目において、Zoom等のオンライン授業（オンデマ
 ンド受講を含む）となる可能性もございます。
 オンライン授業（オンデマンド受講を含む）の場合、大学ではなくご自宅等
 において受講いただくこととなります。パソコン、タブレット等のインター
 ネットに接続できる端末・インターネット通信環境がない場合、受講ができ
 ませんのでご注意ください。
 ご自宅等で受講いただく場合の通信料は、受講者本人のご負担となります。
 - ④本学では、病院等への実習を控えた学生もいることから、状況により感染
 防止対策等をお願いすることがございます。ご協力お願いいたします。

4 各授業科目の概要および、ねらい

公的扶助論 (大岡華子 准教授)	<p>【概要】 公的扶助は、貧困状態に陥った人々の最低限度の生活を保障する 制度であり、社会保障制度の重要な一つの分野として、社会保険や 社会福祉とともに重要な役割を果たしている。わが国の場合には、 生活保護制度がこれに該当する。生活保護制度は、その目的の憲法 25条に規定する理念に基づくものであり、生存権を保障することが 明記されている。 授業では、貧困・低所得者問題とは何か、公的扶助制度の歴史、 生活保護制度の仕組みや動向・課題などについて講義する。また、 低所得者に対する支援制度（生活福祉資金等）等についても紹介す る。</p> <p>【ねらい】 ①社会保障制度における公的扶助制度の役割を理解できている。 ②現代の貧困問題の背景・状況を理解できている。 ③生活保護制度の概要と課題を理解できている。 ④生活福祉資金・生活困窮者自立支援法等低所得者に対する支援 制度を理解できている。</p>
---------------------	---

<p>宗教学 (浅川泰宏 准教授)</p>	<p>【概要】 超人間的存在に関わる私たちの感性や思考が織りなす文化が宗教です。本講義では、聖地、巡礼、山岳信仰、死者供養などの事例を扱いながら、日本の宗教文化を主な対象として、個人や地域社会と信仰世界の結びつきを考えます。本講義は対面授業を原則（一部オンデマンド授業）とし、グループワーク、身近な地域でのフィールドワーク、学修成果の共有など、学生が主体的に活動する形式を取り入れて実施します。自由・活発に思考を働かせながら、知性を鍛えていただきます。</p> <p>※注記：地域社会の宗教文化を学ぶことを目的とした科目です。個別の宗教団体や宗教紛争を解説する内容ではありませんのでご了承下さい。</p> <p>【ねらい】 ①さまざまな人の営みに触れることで、「人間」に興味と敬意を持つ姿勢を養う。 ②学修を通して、自分のアイデアや考えを掘り起こし、形にする能力を養う。 ③多様な宗教文化の発見を通して、様々な価値が共生する社会像を探求する能力を養う。</p>
<p>高齢者福祉論 (小川孔美 准教授)</p>	<p>【概要】 総人口が減少するなか、高齢者の増加により高齢化率が上昇を続け、2035年に33.4%で3人に1人、2060年には39.9%に達し、国民の約2.5人に1人が65歳以上の高齢者となる社会の到来が推計されている。この現実が突き付けてくる様々な課題を、正確にとらえ、これからの社会福祉、制度、政策や人々の生活を支援することについて多方面から考える必要がある。この科目では、とりわけ高齢者の身体的・精神的・社会的特徴や生活実態と社会情勢、福祉・介護について理解を深め、わが国における高齢者福祉制度の発展過程を学ぶ。さらに、相談援助活動に必要な介護保険制度や主な高齢者福祉・介護に係る他の法制度について、高齢者やその家族を支えるための介護サービス等の支援と関連づけながら学習する。</p> <p>【ねらい】 高齢者の社会的、身体的、精神的特性を理解したうえで、高齢者はどのような生活課題、ニーズがあるのかについて、多様な視点から考察する。また、高齢者の生命や生活に関連する法制度を体系的に理解することで、高齢者保健福祉制度の位置づけを明らかにし、高齢者の「生活の質」(QOL; quality of life)向上のために支援を提供できるようにする。</p>
<p>ソーシャルワーク 概論Ⅰ (保科寧子 准教授)</p>	<p>【概要】 ソーシャルワーク・専門的対人援助を行うために必要な基本理念、倫理、支援の考え方を学ぶ。相談援助実践の事例等を用いて、支援の役割および機能、多様な実践のなかの共通課題等を学び、支援を必要とする人々の背景を理解し、基本的な相談援助の在り方を考え、専門的援助者としての視点の涵養をはかる。</p> <p>【ねらい】 ソーシャルワークの基盤となる理念・価値・倫理の理論を学び、それらがソーシャルワーク実践でどのように生かされているのかを理解する。</p>